

15 管区行政評価局

四国行政評価支局長

安原 英樹

一歩先を行く行政を目指して!

管区行政評価局

総合通信局



PROFILE

Hideki Yasuhara

- 昭和53年4月 行政管理庁採用
中国管区行政監察局
- 昭和63年4月 総務庁（現総務省）行政監察局
- 平成16年7月 総務省大臣官房秘書課調査官
- 平成20年7月 行政評価局評価監視官
- 平成24年4月 中国四国管区行政評価局第一部長
- 平成25年6月 現職

■ 仕事の内容

守備範囲は広いですよ

行政評価局には出先機関（管区局・事務所等全国50機関）を含めて約1,200人の職員がいます。採用はブロック機関と本省の2ルートが用意されていますし、採用後は本省研修を経て、皆さんの希望に沿って採用ブロック内での勤務や出先機関と本省間、また本省内での勤務など多様な選択肢が用意されています。

出先機関での仕事的一端をご紹介します。政府内における第三者的な評価専門機関としての「調査業務」、国民の皆様から寄せられる苦情等を処理する「行政相談」等が代表的なものです。四国支局で平成25年度に実施した調査は、全国一斉に行った生活保護の適正化、刑務所出所者の社会復帰支援、自転車安全対策などです。四国独自には、国の建物等のバリアフリー対策、特定外来生物の防除対策です。仕事の守備範囲は本当に広く、常に新しいテーマに向けての準備が要求されますが、自分の調査結果がマスコミで報道されればその達成感は一とおです。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

一歩先を行く仕事をやりませんか

経済成長期に建設された社会資本（橋梁やトンネル）の老朽化問題が国や地方自治体で深刻な課題となっています。官民挙げてその長寿命化対策や点検ソフトの開発、要員育成などが急務との指摘を耳にしたことはないですか？これも「笹子トンネル事故」の2年前に行政評価局がいち早く官民に喫緊の課題として警鐘を鳴らしています。先頃四国支局でも独自テーマとして「忍び寄り特定外来生物」の脅威とその対策を調査し、国の関係出先機関に全国初の改善要請を行いました。また、四国管内の高齢者対策に一石を投ずべく「高齢者等の交通手段の確保対策調査」にも取り組んでいます。

常に一歩先を行く仕事にご関心のある方はいつでもお尋ね下さい。そして新たな行政の課題に向かって取り組んでみませんか！

■ PRIVATE TIME

毎月曜日夜は異次元の・・・

縁あって書道サークルに入りました。師範の方々10名余りの中で毎週1時間半、筆を走らせています。大人の中の小学生状態ですが、練習後の30分は「お茶の時間」。ゆっくり時間が流れ、まるで異次元の世界。ちなみに今月の課題は楷書で「春暁」、師範のような筆遣いにはほど遠いですが。



とある

一週間

■ MONDAY

- ・ 定例幹部会
- ・ 担当部長等と地域計画調査（高齢者等の交通手段の確保対策）の調査計画検討

■ TUESDAY

- ・ 行政相談委員地区代表者会議に出席し、意見交換
- ・ 採用関連の人事院OPENゼミの結果分析等

■ WEDNESDAY

- ・ マスコミ公表資料の検討
- ・ 年金記録確認四国地方第三者委員会事務局と事案検討

■ THURSDAY

- ・ 管内事務所長会議資料の検討

■ FRIDAY

- ・ 陸上自衛隊第14旅団往訪（旅団長等と南海トラフ大地震対応関係打ち合わせ）